



平岡中央中学校ホームページアドレス <https://www.hiraokachuo-j.sapporo-c.ed.jp>

札幌市立平岡中央中学校

学校だより

令和7年(2025年)3月14日

## 第33回 卒業証書授与式

### 式辞

校長 三浦 雅美

やわらかな春の日差しを感じられるようになったこの佳き日に、竹村PTA会長様をはじめ役員の皆様、平岡中央小学校・神坂校長先生、平岡小学校・大滝校長先生、学校評議員の皆様、並びに保護者の皆様にご臨席賜り、第33回卒業証書授与式を挙行できますことを心より御礼申し上げます。3年生の皆さん卒業おめでとうございます。一人一人に手渡した卒業証書は、9年間の義務教育終了を証明するとともに重みのあるものです。それは、皆さんの努力はもちろん、多くの人に支えられて手にすることができた卒業証書でもあります。

私は、みなさんが2年生の時に教頭として着任いたしました。みなさんの元気な挨拶と人懐っこい振る舞いは、着任当初の緊張感を和らげてくれたことをはっきりと覚えています。校長になってからは、毎朝各学級を回るのですが、その折にも、親しげに話しかけてくれることが大変嬉しく感じました。また、修学旅行や学年集会でのみなさんの節度を守りつつも、盛り上がる場面では、全員で楽しむ姿にも感銘を受けました。

今、世界は安定した状況とはいえません。この、予測困難な時代において、必要なのは、「学び、考えることを止めないこと」です。みなさんに伝えてきた「なぜ学ぶのか」で考えてもらったように、自分の考えをもちつつ、その時々に変化する状況に柔軟に対応することが大切です。そうはいいつつも、そのような状況に置かれたとき、これまで経験しなかった困難さを感じることもあるでしょう。そんな時に、心に刻んでほしい言葉があります。飛行機は、ジェットエンジンを推進力にして前進しますが、前進する速度が速いほど、正面から風の抵抗を受けます。そして、この風の抵抗を翼に受けると、翼に揚力という上昇する力が生じて離陸します。この正面から受ける風を逆風と呼びます。逆風は私たちにとって、あまり良い印象をもたない言葉です。しかし、飛行機は逆風があるからこそ、高く舞い上がるのです。みなさんが、この先の人生を歩むとき、上手くいかない場面がきっとあります。きっと正面から逆風に当たり、しんどい状況になっています。でも、この「逆風に当たっている時は、今よりもより高く飛躍するためのチャンス」なのです。

結びとなりますがご家族の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。人生で最も多感で成長著しい時期のお子様が、こうして慶びの日を迎えられましたことに、感慨もひとしおのことと存じます。今日まで本校にお寄せいただきましたお力添えに感謝申し上げますとともに、卒業されるお子様の今後のさらなる活躍をご祈念申し上げ、卒業証書授与式の式辞といたします。

## 在校生代表 送辞 金成 湊大

校舎の前に降り積もった雪も解け始め、少しずつ春の訪れが感じられるようになりました。本日、平岡中央中学校を卒業される3年生のみなさん、おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。今、みなさんの心の中には、中学校生活でのたくさんの思い出が浮かんでいることでしょう。仲間と協力し、共に前に進んでいったこと。物事が思うようにいかず、悩み立ち止まったこと。3年間の中には楽しかったことも辛かったこともたくさんあったと思いますが、今はそのひとつひとつが、大切な思い出となっているのではないでしょうか。私たちにとって先輩のみなさんは、いつもお手本であり、憧れの存在でもありました。入学当初から校内に響いていた爽やかな挨拶は、ずっと私の目標です。全校合唱や合唱発表会で、力強く、それでいて繊細で心に迫る歌声には、とても感動しました。それは、3年間共に歩み、いくつもの壁を乗り越えながら団結してきたみなさんだからこその歌声だったのだと思います。また、日常が戻り、例年通りの開催となった学校祭では、これまでの経験を生かし「さすが3年生」だと私たちが感心するような素晴らしい作品をたくさん見せてくださいました。そして部活動では、何もわからなかった私たちに優しく教えてくれたことに、しかし時には厳しく、大切なことをいくつも教えてくださいました。3年生のみなさんからは本当にいろいろなことを学んだと思います。そんなみなさんの姿を見ることができなくなるのは、とてもさびしいです。これまで、歴代の先輩方が守り、発展させ続けてきた我が校の伝統を、3年生のみなさんも私たちにたくさん残してくださいました。次は私たちがそれを引き継ぐ番です。受け継いだものをより良く育てていくように、これからもますます努力していきたいと思います。いよいよみなさんは、自分自身の道に羽ばたく時を迎えています。この平岡中央中学校での3年間の活動や経験と、たくさんの思い出が、きっとこれからのみなさんの力の源となることでしょう。それを信じ、未来への希望をもって、新しい一歩を踏み出してください。最後になりますが、これまでさまざまな場面で私たちを見守り、温かくリードして下さったことを心から感謝します。ありがとうございました。素晴らしい先輩方と出会い、共に過ごせたことをとてもうれしく思います。これからのご活躍を応援しています。本日はご卒業おめでとうございます。

## 卒業生 お別れの言葉 渡邊 朝飛

厳しい寒さも少しずつ和らぎ、あたたかな日差しとともに春の訪れを感じられるようになってきました。今日この日、私達卒業生のために、このような晴れやかな卒業式を行っていただき、心より感謝いたします。

期待と不安を抱き、この平岡中央中学校に入学したあの日から三年の月日が過ぎました。振り返ってみると、これまでの三年間は仲間と切磋琢磨し、たくさんのことに挑戦し続けて、毎日がとても充実していました。

入学式を迎えた後の生活は、新しいことばかりで、目まぐるしく過ぎていく日々に圧倒されていました。何をするにも必死だったはじめての一年間はあっという間に過ぎました。

二年生となり、後輩ができたことにより、毎日の生活の仕方を見つめ直すようになりました。その中で、私たちの伝統である「あいさつ」と「合唱」に目を向けました。新型コロナウイルスの影響が落ちついたこともあり、それまで大きく表現できなかった伝統を、ここから広げていこうと行動し始めました。努力の甲斐あって、以前よりも学校全体が明るくなり、過ごしやすくなりました。

そしていよいよ三年生となり、先輩方から受け継いだ伝統を自分たちが主体となって後輩へ繋いでいく立場となりました。自分たちの行動が後輩の手本となる責任を感じながらも、自分たちの力で学校を明るくしようと、伝統を引き継いでいこうと意欲をもっていました。学校祭では、他学年と協力して作品を作り上げたり、発表を全校生徒で見たりと学年間の交流が増え、学校全体の一体感を感じる事ができました。合唱発表会では、最高学年らしい合唱にするため、それまで以上に互いに協力し、高め合いました。これらのような行事だけではなく日常生活の中でも、学年に捉われずにあいさつを交わし、伝統を繋ぐと同時に、後輩達と心も繋がっていたと感じます。

この三年という時間は私たちにたくさんの思い出をくれて、毎日を楽しみ過ごすことができました。それは仲間がいたからこそだと思います。仲間とともに作り上げてきたこの三年間は、かけがえのない宝物です。

こうした学校生活を支え、力を尽くしてくださった先生方には感謝してもしきれません。私たちと一緒に悩み、悔しがり、支えて道を示してくださった先生方の存在は、私たちにとってとても心強かったです。先生方のように誰かの支えとなり、導けるような人になりたいです。これからも、心のどこかで応援してくださると嬉しいです。

そして、私たちをここまで一番近くで支えて応援してくれた家族には感謝の気持ちでいっぱいです。中学生としての自分の姿を見せるのは今日で最後になると思うと、うれしいような照れくさいような気がします。ときには心配をかけることもあったと思います。それでもいつもあたたかく接してくれて、本当にありがとうございました。

今日、私達はこの慣れ親しんだ梅色の校舎を巣立ち、それぞれの夢や希望に向かって歩みはじめます。在校生のみなさんが、これからより明るく、有意義な学校生活を送ることができるよう、卒業生一同心から願っています。先程の吹奏楽部の演奏や在校生代表の言葉を聞き、心があたたかくなりました。

平岡中央中学校での日々が思い出となり、皆と別れなければならないことは、とても寂しく思います。しかし、この三年間の思い出を胸に、これからの人生においても、諦めずに挑戦し続けていきたいと思っています。

最後になりますが、これまで私たちを支えてくださった全ての方々に御礼申し上げます。平岡中央中学校の伝統が繋がり、発展し続けていくことを心から願っています。